

基調講演・パネルディスカッション出演者プロフィール (敬称略、五十音順)



石井 幹子(いしい もとこ)

都市照明からライトオブジェや光のパフォーマンスまでと幅広い光の領域を開拓する照明デザイナー。日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、中近東、東南アジアの各地で活躍。新エネルギー、省エネルギーを積極的に用いた照明デザインに取り組む。北米照明学会会員、国際照明デザイナー協会特別会員(Fellow)、日本照明委員会会員、照明学会名誉会員、光文化フォーラム代表。



大谷 義彦(おおたに よしひこ)

元日本大学教授、工学博士、主として室内照明設計関連の研究に従事。平成9年度照明学会賞受賞、平成15年 CIE Award 受賞、照明学会名誉会員、日本照明委員会名誉会員、元 LED 照明推進協議会(NPO)会長、Light Bridge Association JAPAN NPO 副理事長、照明学会認定「照明プロフェッショナル」。



落合 勉(おちあい つとむ)

照明デザイナー、M&O デザイン事務所代表。ヤマギワにて照明を実践後、1991年横浜にてM&O デザイン事務所スタート、現在に至る。2001年から LED 照明デザインワークに特化した活動を展開、そして2006年からは OLED 照明普及にも尽力。趣味は古灯具探索で、日本のあかり文化の認知普及活動を展開中。2009年7月、Light Bridge Association JAPAN NPO を設立。後進の育成にも力を注ぐ。



泥 正典(どろ まさのり)

(一社)日本照明工業会専務理事。兵庫県立姫路工業大学機械工学科修了。三菱電機(株)の照明事業部門で製造技術、品質保証及び照明器具の新製品開発に従事。



山倉 礼士(やまくら れいじ)

月刊『商店建築』編集長。東京生まれ。横浜国立大学大学院工学研究科修士課程修了。学生時代から、魅力的な建物やショップを見て歩く楽しさに惹かれ、商店建築社では一貫して月刊『商店建築』の編集に携わる。誌面充実のために常に新しい店舗を見て、設計者やオーナーへの取材を行っている。『商店建築』は、1956年創刊のストアデザインの専門誌で、2011年の4月号で通巻700号を迎えた。

パネルディスカッションモデレータープロフィール



小林 光(こばやし ひかる)

慶應大学環境情報学部教授、工学博士。1949年東京生まれ。1973年に環境庁(現・環境省)入庁。気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)の誘致や、同条約京都議定書の国際交渉を担当。2009年7月に環境事務次官に就任。2011年1月に退官。主な著書『エコハウス私論 建てて住む。サステナブルに暮らす家』(ソトコト新書)、『低炭素都市』(学芸出版社)。